

ひびき動物病院 かららばん

平成28年1月号 (24号)

あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願い致します。

今年も小学校のうさぎの話題の続きからです。

授業参観ついでに小学校でうさぎを覗いてきました。
あまりいい写真が撮れませんでした。いい機会かもしれないので、少し報告します。



小屋の外回りにはすでに防風用のパネルを設置していただいております。
毎年秋に磯子区獣医師会の先生方と組んで区内の小学校の動物委員にお話に行くのですが、その時にパネルを先生にお願いしてくるのは定番のひとつとなっています。金網越しなので、基本的に雨風が入ってしまいますので、こんなことでも大きな違いになっています。
先生方がご存知であればこうやって早く対策を取ってくださるので、先生方に理解してもらうことも大事ですね。

どこの小学校に授業に行ってもいつも言う事なのですが、前職場にいた時に行っていた都内の小学校には、学校飼育動物がない方が多く、動物を触ったことがある生徒は半数以下ばかり。横浜の小学校で育った自分にはとてもビックリした事実でした。学校に動物が普通にいるなんて、君たちはとても貴重な経験をしているんですよ、それはラッキーなこと。やりたくても出来ない人もたくさんいますから、そういう意味では一生懸命お世話をしてあげて下さいね、って言っています。



前回のうさぎの箱は、小屋の中にあっただのですが、うまく写真が撮れませんでした。箱の中はどうなっているのかなあ？

〒235-0045

横浜市磯子区洋光台6丁目2-17-102

045-832-0390



定休日 木曜日 全日 と 日祝の午後

冬ですが、ハウスダストの話

ハウスダスト（家の中のほこりにいるダニ）に注目したことがありますか？

うちの子供の皮膚にかゆい湿疹ができたので、飛び火になる前にと皮膚科に連れて行ったところがありますが、診断は「ダニ」ということがありました。ハウスダスト（イエダニとかチリダニとか）が原因だったんです。家族で湿疹はその子だけでした。掃除もそれなりにしているつもりだったのですが、タイミンクなのでしょうか？ハウスダストは人やペットのふけを食べに来ますので、どうしてもゼロにはできず、共存しないといけない相手です。とりあえず掃除や洗濯に気をつけるようにしていますが、ペットにも、もう一歩協力してもらおうことにしています。

フィラリア予防薬とノミマダニのお薬に、このハウスダストに対する作用が期待できるものがあります。皮膚のトラブルがある子には、フィラリアと一緒にダニ予防をすることで、もしかしたら皮膚病のお薬が減らせるようになるかもしれません。飲ませるタイプのフィラリア薬は新しいのがでましたが、新年になると、外用薬のモデルチェンジも予定されています。

血液検査でハウスダストにアレルギー反応がある子は、アトピー性皮膚炎と診断されることが多いのですが、アトピーのようでそうではない、イヌのアレルギー性皮膚炎では、ダニのアレルギーが原因のこともちょこちょこあるのです。診察室で偶然ダニが見つければ、それで確定するのですが、検出率は五分五分です。見つからない時は見逃してしまうこともあり、見つからなくても、一歩踏み込んで、ダニ駆除を進めると皮膚のカイカイがよくなるケースがあるのです。また、環境を整えるためのものとして、ハウスダストをブロックするスプレーも動物用で先行新発売です。ヒトにもいい効果が期待できるものです。ぜひお試し下さい。

お知らせ

スタッフの休暇をいただきますため、1月前半のトリミングは少しお休みがあります。お早めにご予約お願い致します。

お休みなど

1/27 18時まで

2/1 院長不在

最新は
ホームページも
参考にしてください。

これも
話題の →
新発売



ダニ由来のアレル物質を
ブロックするスプレー
アレルバックス
新発売！
2160円